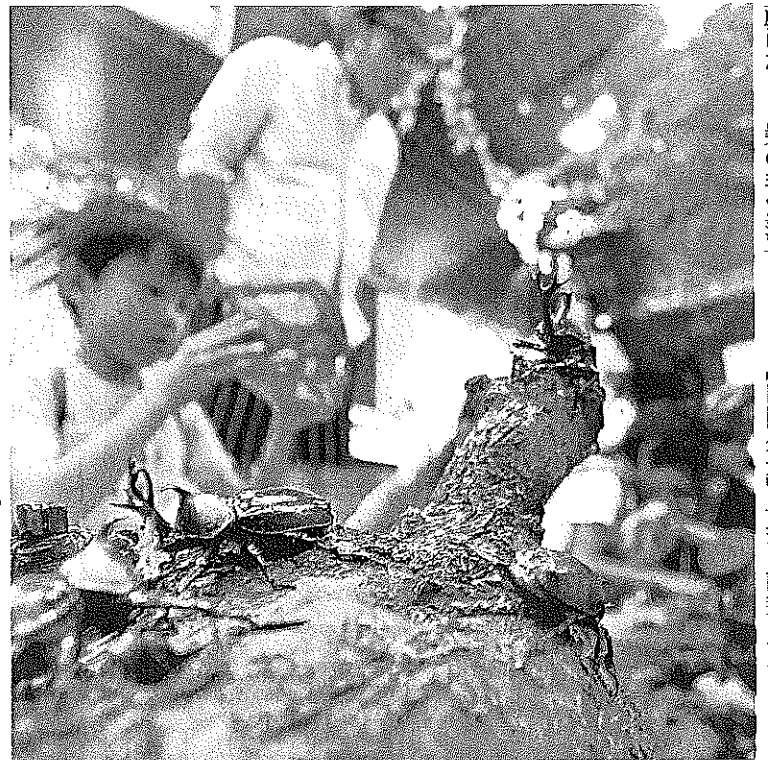


# 「優しい男」 保見容疑者 中学同級

## 周南5人殺害

「あの優しかった男がなぜ」。山口県周南市の5人連続殺害・放火事件で、殺人、非現住建造物等放火容疑で逮捕された保見光

ラスに21人いた男子の中で、身長が175センチを超えていた保見容疑者は最も背が高かった。当時13歳前後だった会社員が同級生から背の低さをからかわれた時、保見容疑者は「何しとるんか」と割って入り、助けてくれたという。「僕のことを『ママ』と呼んで優しくしてくれた」。最後に会ったのは、保見容疑者が地元でダウンする前後の十数年前。「おい、飲もうや」と電話があり、2人で周南市内のすし屋と居酒屋をはしごし



顔になり、髪の毛が薄

「内田久光」多く診察していること

「内田久光」多く診察していること。重加算税などを含み約1億5000万円。山中院長は既に修正申告したとみられる。関係者によると、山中院長は自身が経営するクリニックを人が経営しているように装

東京都港区の東京タワー1階で開かれている「大昆虫展 in 東京タワー」が子供たちの人気を呼んでいる。7畝四方の巨大虫かごの中に森を再現した「ふれあいジャングル」には、約200匹のカブトムシなどが放し飼

していただければ、国税当局は悪質な仮装・隠蔽に当たると認定した模様だ。所得隠しが指摘された診療は保険の利かない「自由診療」で、健康保険組合などに診療内容や金額などを示す必要がある保険診療と比べ外部から実態がつかみにくいため、これを悪用したとみられる。山中院長は保険に加入していない外国人でも積極的に診察する医師として知られ、雑誌で「歌舞伎町の赤ひげ先生」などと紹介されていた。【太田誠一】

# 加入2カ月後「うつで自殺」 保険金支払い求め提訴

## 神奈川の遺族

自殺で亡くなった夫の生命保険金を給付しないのは不当だとして、神奈川県的女性(43)がネットライフアリコ生命保険(東京都墨田区)に720万円の支払いを求め、東京

地裁に提訴した。自殺は保険契約の2カ月後で同社の免責期間内だったが、女性側は「うつ病を発症しており故意の自殺ではない」と主張する方針。

に手助けするため2010年12月に結成された「自死遺族支援弁護団」がサポートする初の訴訟になる。同弁護団は「自殺だから保険金は出ないと言われて諦めている遺族はもっ

といえる」として、他の遺族の救済にも取り組む考えだ。提訴は6月26日付。性の夫は10年5月、同社と保険契約を結んだが、同6月に自殺を

り、43歳で亡くなった。夫は08年うつ病を発症し、通院していた。保険金を請求した女性に対し、同社は、免責期間内であることや契約時にうつ病を申告しなかったことを理由に支払いを拒否した。

免責期間内の自殺を巡っては、05年に大分地裁、10年に奈良地裁が「精神疾患のため自由な意思決定によって生命を絶ったと言えない」として保険金の給付を命じる判決を言い渡した例がある。女性

約40人の弁護士でつくる自死遺族支援弁護団によると、別の保険会社から「自殺なので保険金は出ない」と説明された遺族が同弁護団に相談し交渉したところ、経緯の聞き取りや書類の提出を経て全額が支払われたケースもあった。和泉弁護士

る可能性があることを生保各社は十分説明すべきだと訴えている。一方、生命保険協会は「自殺のケースで支払うかどうかの判断は難しい。業界でガイドラインは設けておらず、各社が個別に判断している」と話す。提訴についてネットライフアリコは「お客様の個別案件なのでコメントは差し控えています」としている。【荻田伸宏】